

愛知県障害者基礎調査報告（速報値）

1 調査対象

- 県内の障害者 3,100 人に対して、調査票を郵送または手渡しし、調査を行った。
(対象の内訳は以下のとおり)
 - ①身体障害者：1,500 人（政令・中核市を除く手帳所持者から抽出。肢体 700、内部 500、視覚 100、聴覚 150、音声言語 50 とする。）
 - ②知的障害者： 400 人（政令市を除く手帳所持者から抽出）
 - ③精神障害者： 400 人（政令市を除く手帳所持者から抽出）
 - ④発達障害者： 400 人（精神医療センター受診者及び政令市を除く発達障害関係団体会員から抽出）
 - ⑤難病患者： 400 人（政令市を除く難病法に基づく特定医療費助成制度受給者から抽出）

2 調査期間

令和元年10月11日（金）から令和元年11月22日（金）まで

3 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
3,100 通	1,464 通	47.2%

<参考> 前回調査時の回収率：51.2%（1,281 通/2,500 通）

障害種別状況

障害種類	配布数	有効回収数	有効回収率
身体障害	1,500 通	728 通	48.5%
知的障害	400 通	153 通	38.3%
精神障害	400 通	152 通	38.0%
発達障害	400 通	219 通	54.8%
難病患者	400 通	212 通	53.0%
合計	3,100 通	1,464 通	47.2%

4 主な調査結果

- 問 2 1 生活の場所（持ち家、グループホーム等）について

回答	割合	割合（前回調査時）
持ち家（一戸建て）	67.8%	68.7%（1位）
民間賃貸住宅	9.1%	8.4%（2位）
持ち家（マンション）	5.4%	5.3%（3位）

- 問 2 5 障害福祉に関する情報の入手方法について

回答	割合	割合（前回調査時）
市町村役場に問い合わせる	31.9%	33.8%（1位）
主治医や医療機関の職員に聞いてみる	25.4%	23.5%（3位）
市町村の広報誌を見る	23.1%	24.6%（2位）

- 問 3 9 成年後見制度を知っているか

回答	割合	割合（前回調査時）
知っている	49.8%	49.2%
知らない	43.2%	43.9%

○問 4 6 学校における教育や配慮に対する満足度について

回答	割合	割合 (前回調査時)
満足している	31.1%	21.2%
どちらかといえば満足している	40.5%	45.2%
どちらかといえば不満である	16.2%	10.6%
不満である	5.4%	4.8%

○問 5 5 情報の入手方法・入手場所について

回答	割合	割合 (前回調査時)
テレビ	65.2%	71.5% (1位)
新聞	46.9%	48.8% (2位)
市町村広報	31.7%	34.8% (3位)

○問 6 2 現在の街のバリアフリー化の満足度について

回答	割合	割合 (前回調査時)
十分に進んだと思う	3.6%	3.2%
かなり進んだと思う	18.0%	17.1%
進んだが、さらにバリアフリー(ユニバーサルデザイン)化が必要だと思う	35.3%	43.0%
進んでいないと思う	21.7%	20.5%

○問 6 5 収入や手当の有無について

回答	割合	割合 (前回調査時)
年金	65.4%	61.0% (1位)
仕事による収入	29.2%	29.6% (2位)
手当	17.4%	21.2% (3位)

○問 8 0 就労・就労定着に必要な配慮について

回答	割合	割合 (前回調査時)
障害のことを理解する会社があること	48.2%	56.2% (1位)
職場の人たちが障害のことを理解すること	43.6%	51.6% (2位)
障害者の就労について、積極的に進める職場や地域が増えること	30.0%	37.2% (3位)

○問 8 1 文化芸術活動の内容について

回答	割合	割合 (前回調査時)
おこなっていない	71.0%	前回調査なし
音楽	8.6%	前回調査なし
絵画	3.8%	前回調査なし

○問 8 7 差別や嫌な思いを受けた経験の有無について

回答	割合	割合 (前回調査時)
ある	36.5%	41.1%
ない	54.3%	50.0%

○問 9 7 災害時に不安に感じることにについて

回答	割合	割合 (前回調査時)
避難所(避難場所)で必要な支援・医療が受けられるか心配である。	45.9%	45.7% (1位)
避難所(避難場所)が障害のある人に配慮されているかどうか心配である	42.1%	37.8% (2位)
災害に関する情報を入手できるかわからない	21.0%	26.0% (3位)

